一般社団法人 北海道環境保全技術協会 主催

平成 23 年度第 1 回環境保全技術セミナー

日時：平成 23 年 7 月 8 日（金）、午後 2 時 30 分～5 時 00 分
場所：かでる２７　 710 研修室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

＜セミナーの内容＞

１．『「建設工事で遭遇する地盤汚染対応マニュアル改訂版」による影響予測の概要と解析手法』

［概要］ 平成23年3月に独立行政法人土木研究所からだされた「建設工事で遭遇する地盤汚染対応マニュアル改訂版」にある地下水汚染の影響予測の概要とその解析手法について紹介する。

［発表者］ 株式会社ダイヤコンサルタント 地圏環境センター 地盤解析グループマネージャー 菱谷 智幸 氏

２．『ダム湖流木を利用したダム周辺景観保全緑化工の実施例』

［概要］ ダム湖における流木は、大型台風の来襲や集中豪雨の多発などにより、大きな問題となっている。2,000m^{3}にも及ぶ大量の流木をダム周辺のモルタル吹付面の緑化に供し、流木の経済的処理と風光明媚な湖畔における周囲景観との調和を実現した「膨軟化チップ吹付緑化工」について紹介する。また、本工法の北海道内における適応事例、発展的工法である「竹膨軟化繊維吹付工法」についても言及する。

[発表者] 日本基礎技術株式会社 東京本社 技術部（環境グループ）部長 池田 昌義 氏

３．『自然由来重金属類の対策について』

［概要］ 建設工事で遭遇する自然由来の重金属含有岩石・土砂の対策工法として、吸着層工法が北海道開発局を中心として全国的に普及しつつある。工法の普及に伴い表面化した設計時、対策資材の選定方法における注意点、施工時の品質管理方法における問題点について実施工事例を踏まえて紹介する。

［発表者］ 岡本興業株式会社 土壌環境チーム 係長 西村 雅佳 氏

参加者；１１４名（官公庁 31　会員 42　一般 26　関係者 15）

今回のセミナーでは、地下水汚染の影響予測の概要とその解析手法、ダム湖流木を利用したダム周辺景観保全緑化、自然由来の重金属類の対策について紹介した。